

は
が



引原小から野原小へ引き継がれた、親たちの思いのこもったカレンダーです

ました。
カレンダーづくりは、半年が

親たちのバトンリレー

受け継がれてきたPTA 版画カレンダー

今年も野原小学校区の家庭にPTAの版画カレンダーが配られました。公共の施設などでは、「飾る場所を空けて待っているんです」と、とても評判のカレンダーです。

2012年のテーマは十二支。月ごとに親たちがデザインし、彫り上げました。

カリグラフィーは、半年がかりで、六月にテーマを決め、下絵描き。夏休みに木彫作家の富島清子さん(斉木)の指導のもと版木掘りに取り掛り、十月に本刷り。十一月にはPTA総会がかりでひとつのカレンダーにまとめ、やっと完成します。

始まりは、昭和58年。旧引原小で、先生の提案に親たちが応え、熱心に作り上げました。それから毎年制作され、平成元年の学校統廃合後も野原小PTAにしっかり引き継がれました。

児童のいる家庭が少なく、ほとんどの親たちが制作に関わります。カレンダーづくりを通して、こころのつながりは、校区みんなの財産といっても過言ではありません。

(波賀支部 可藤和成)



めくるごとに、素朴であたたかく、また緻密で迫力あるバラエティーに富んだ作品です

ち
くさ



「最近では手口が巧妙になっています。おかしいと思ったら、穴粟警察署62-0110へまず電話を」



小学生の登校時の交通安全を見守ります

1月23日(月)、お達者クラブで、千草駐在所の駐在さん(今川英樹 樹巡査部長)による「振り込め詐欺や悪徳商法、交通安全について」の講話がありました。

「粗品が貰えると聞いて行ったら、違つもん売りつけられそうになった」「高い鍋を買ったことがある」など、参加者の皆さんからは布団や健康器具、表札等の訪問販売の体験談が次々に出て、

「引つかからんよう、気いつけなあかんなあ」との感想も。「ここで話をさせてもらうことで、少しでも被害の防止に役立てば…」と今川さん。

高齢者を悪徳商法などから守るには、日頃からの声掛けや見守りが大切です。住民同士のつながりを強め、地域の安全を守っていきましょう。

(千種支部 小原志のぶ)

悪徳商法から高齢者を守る

駐在さんがお達者クラブを訪問で呼びかけ



これが本物の警察手帳やで